

新型コロナウイルス対応緊急支援助成
事業計画（実行団体）

事業名(主)	野外体験型フリースクール事業
事業名(副) ※任意	スポーツ、芸術、自然体験から学ぶ学校事業

入力数 主 14 字 副 20 字

実行団体名	認定NPO法人TSC
資金分配団体名	公益財団法人信頼資本財団

優先的に解決すべき社会の諸課題

領域	分野
<input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

入力数 0 字

SDGsとの関連

ゴール
4.質の高い教育をみんなに

実施時期	2021年6月 ~ 2022年2月	事業対象地域	全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 <input checked="" type="checkbox"/> (滋賀県及び周辺地域)	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	小学生から高校生までの不登校児童生徒 6歳～18歳までの若者	事業対象者人数	30名
------	-------------------	--------	---	---------------------------------------	-----------------------------------	---------	-----

I.団体の社会的役割

(1)申請団体の目的
夢を追いかける地域の子どもたちに、その夢を実現できる環境を与えてあげたい。TSCはその想いから生まれました。 ミッション：個性を活かして、夢を実現させる環境を作ります。 ビジョン：スポーツを通じて、感動を共有できるまちづくりを目指します。 スポーツの枠に捉われずに、感性を磨く芸術プログラムを取り入れるなど、教育環境、子育て環境の向上を目指して、住みやすいまちづくりにも貢献していきます。
(2)申請団体の概要・事業内容等
高島市を中心に17種目のプログラムを運営する総合型地域スポーツクラブです。 創立15年目の2021年3月末時点で337名の会員が在籍し、約8割は園児から中学生までの子どもたちです。個性に合わせたプログラムを選択できる環境を作ることで、「やらされるスポーツではなく、やりたくなるスポーツ」を選べる子どもたちが増え、「スポーツをめちゃめちゃ楽しめる」子どもたちがたくさん誕生してくれれば嬉しく思います。

入力数 (1) 196 字 (2) 199 字

II.事業の背景・社会課題

新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題
新型コロナウイルス感染症対策により、学校に通う子どもたちもマスク着用が通常化し、息苦しい生活を強いられる中、相手の表情が見えないこと、楽しみにしていた行事が中止になるなど、友達を作るきっかけを失うことで「無価値感」や「孤立」を生み、子どもの自殺数が増加（厚生労働省統計）するなど、大きな社会課題を抱えております。また、文部科学省による「2019年度問題行動・不登校調査結果」で18万人いる不登校児童生徒数が、日本教職員組合が2020年8月末から9月中旬、全国の小中高校や特別支援学校計1152校から回答を得た調査では、22.7%が不登校や保健室登校などの子どもが「増えた」と回答するなど、問題が深刻化しています。 不登校児童生徒や、学校に行くことがストレスに感じるなどSOSを出している子どもたちにとって、学校や家庭以外の居場所を提供し、自然や地域と交わることで日々のストレスから解放され、生き生きと生活できる環境が必要だと考えております。 当クラブの活動には、不登校であっても、クラブの活動には参加をしてくれている子どもたちがおります。現在の活動は夕方から夜にかけてが中心となっておりますが、平日昼間にもフリースクールとして、スポーツ・芸術・学習・地域との交流などのプログラムを提供することで、自然や運動、感性の素晴らしさを伝え、生き辛さを感じている子どもたちの心に寄り添うことが、子どもの自殺者数の抑制や、不登校児童生徒数の抑制に繋がると考えております。

入力数 631 字

III.事業内容

(1)事業の概要
スポーツ・アート・音楽などを学ぶ感性教育、キャンプや自然観察を通じた環境学習、農業体験や漁業体験など地域社会との交流などを通じて、子どもたちが生き生きと過ごすことができる自然体験型フリースクールを開校します。新型コロナウイルス感染症により、以前から社会問題となっていた不登校児童生徒や、日々の学校生活にストレスを感じSOSを発している児童問題が深刻化する中、学校に行きたくないと感じた児童がいつでも気軽に通うことができる公園や、キャンプ場のような自然学校をフリースクールとして運営し、体験や交流を通じて持続可能な社会の実現に貢献できる子どもたちを育てることで、問題解決に貢献します。

入力数 291 字

(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態
高島市および周辺地域において、ストレスによって不登校や引き込みりとなっている30名の児童が、フリースクールに通うことによって健康的な生活を取り戻している状態を目指します。

入力数 85 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
引きこもりとなっている児童が、定期的に外出し、自然と触れ合える健康的な生活を送れる状態。 マスクや消毒のストレスにより、心にSOSを出している生徒が、週に1～2回程度フリースクールに通うことで、心のバランスを保つことができている状態。	フリースクールへの参加者数	実際の参加者のカウント	毎月1回以上通う児童数30名	2022年2月末

(4)活動	時期
購入済みの土地に、トイレ、炊事場などを新設し、自然体験ができる公園型キャンパスを新設する工事	2021年6～10月
不登校児童生徒や子どもの自殺が増加する夏休み明けの本格開校を目指し、8月にプレオープン（短期イベント）。平日の運営	2021年8月
本格開校。平日の運営	2021年10月～2022年2月
芸術家や環境活動家の専門講師を招いての講習（月に2回程度）	2021年10月～2022年2月
公園内、地域内へ道具などを運搬する車両の購入（リース）	2021年8月～2022年2月
野外活動用備品の購入	2021年7月
スタッフによるキャンパス内の整備	2021年7月

IV.事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割	管理部門：北川 渉「運営管理」、北川伊久男「運営管理」、北川容子「経理・事務」 指導部門：小野田陽佑、山本優希美、高橋建也 補助役：アルバイトスタッフ
(2)他団体との連携体制	情報共有：高島市内の小中学校、各保育園・幼稚園、子ども園 地元農家：みなくちファーム、針江のんきいふあーむ、よこいファーム
(3)想定されるリスクと管理体制	施設内での怪我などのリスク：リスク管理マニュアルを作成し、スムーズな対応を図る。施設保険への加入。 感染症対策：できる限り自然の中での活動を優先し、三密を避ける。

V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無				
コロナウイルス感染症に係る事業				
①本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細	
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）		
(2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績				
当クラブの活動を通じた保護者との継続的なコミュニケーション、アンケートの実施 市内小中学校との定期的な面談 ママエンジェルズ滋賀からのヒアリング オーガニック給食委員会からのヒアリング				